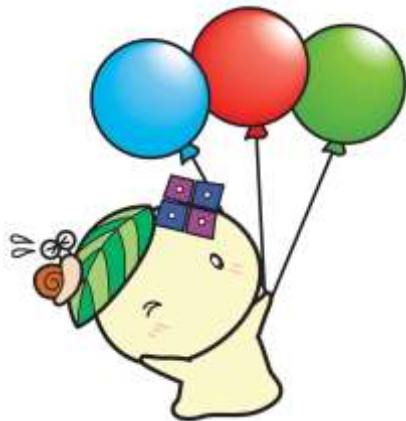


生野区西部地域学校再編整備計画・説明会  
(平成29年7月30日実施 勝山・鶴橋中学校区)

# これからの学校の話しよう

---

～2030年を生き抜く力と「まち」を育てる～



生野区長 山口 照美

1. **はじめに**～小規模校の校長経験から～
2. **生野区**の教育課題
3. これからの「**生野**の教育」
4. **勝山・鶴橋中学校区**の教育環境整備案
5. 今後の進め方
6. **まとめ**～「未来志向」のまちづくり～



# 1. はじめに ～小規模校の校長経験から～

## ○民間人校長～教育委員会～公募区長へ

公教育の課題を解決すれば教育格差は解消できる



「行政や地域の力を借りないと、学校はパンクする！」

## ○大阪市立敷津小学校（浪速区）

公教育の課題が凝縮した学校

## ○小規模校のいいところ。

一人ひとりに目が届く

家族的な仲の良さ

出番や持ち場が多い

教職員の同僚性が高い

## ○小規模校の難しいところ。

人間関係が固定化する

若手教員の育成に課題

行事等の運営が大変

教職員の業務数が多い

## ○「学校再編整備計画」への思い。

学校再編は  
国の方針であり、  
大阪市の方針でも

小規模のまま  
学校を維持したら？

地域の歴史も思い  
も大事にしたい。

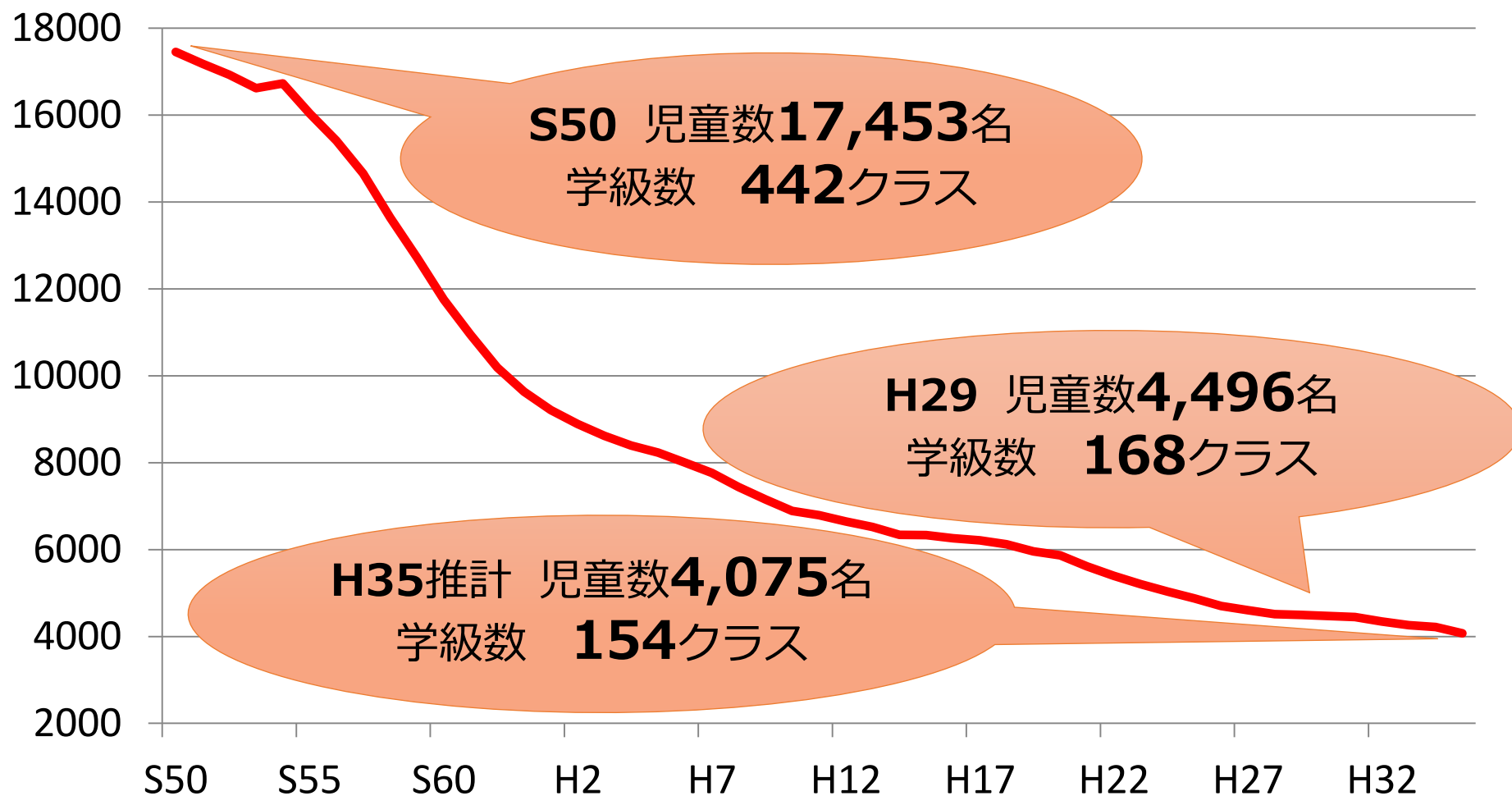
「今のまま」で本当にいいのだろうか？

## 2. 生野区の教育課題

# 【課題 1】 減る児童数と学級数～生野区全体～

○H29.5.1現在(暫定値)。H30年以降は推計値。

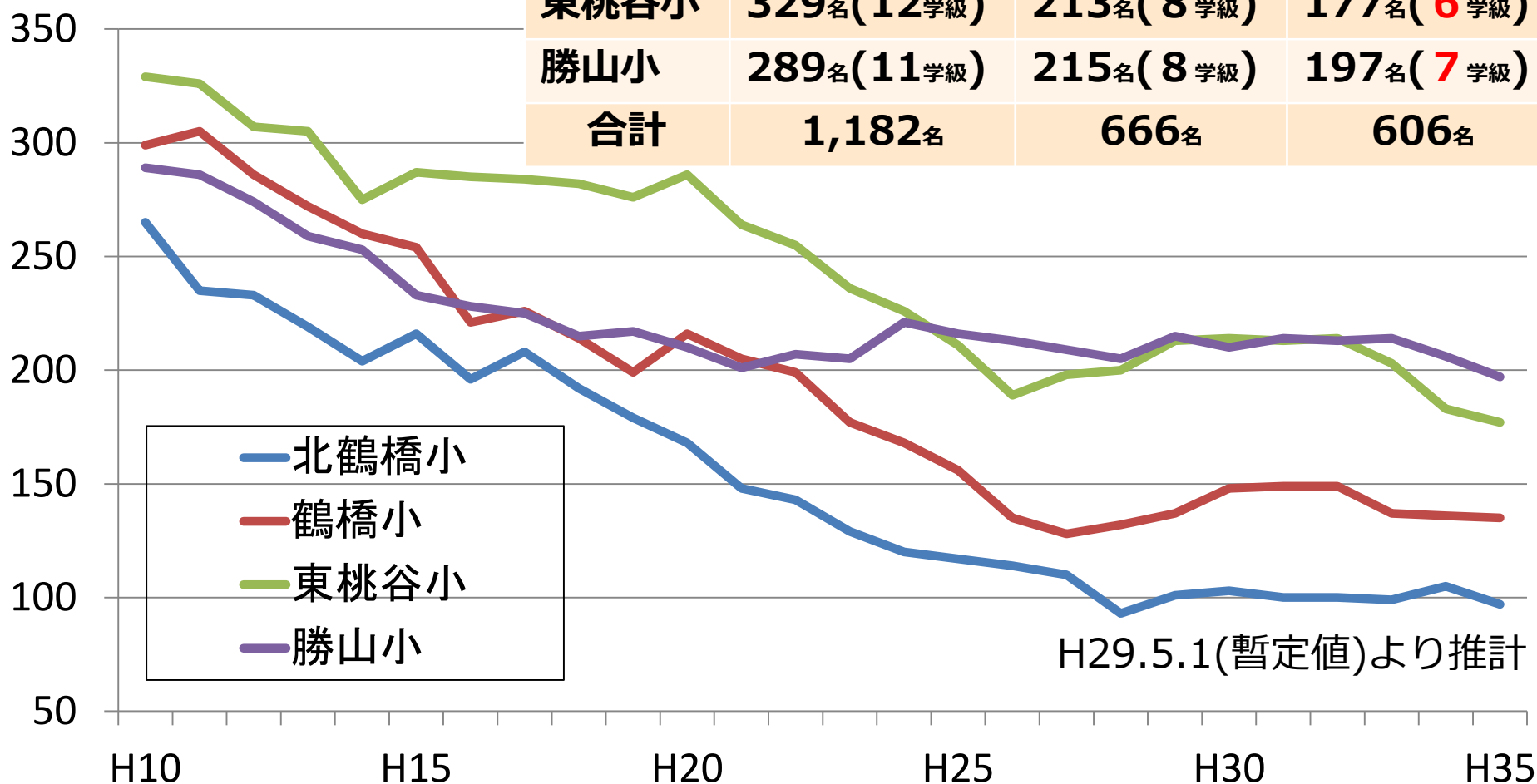
○H29は**4,496**名、**168**クラス → S50とくらべ、児童数 **約74%減**



# 減る児童数と学級数～勝山・鶴橋中校区～

○H26年度以降でみると、  
1歳～小2で転出傾向あり。

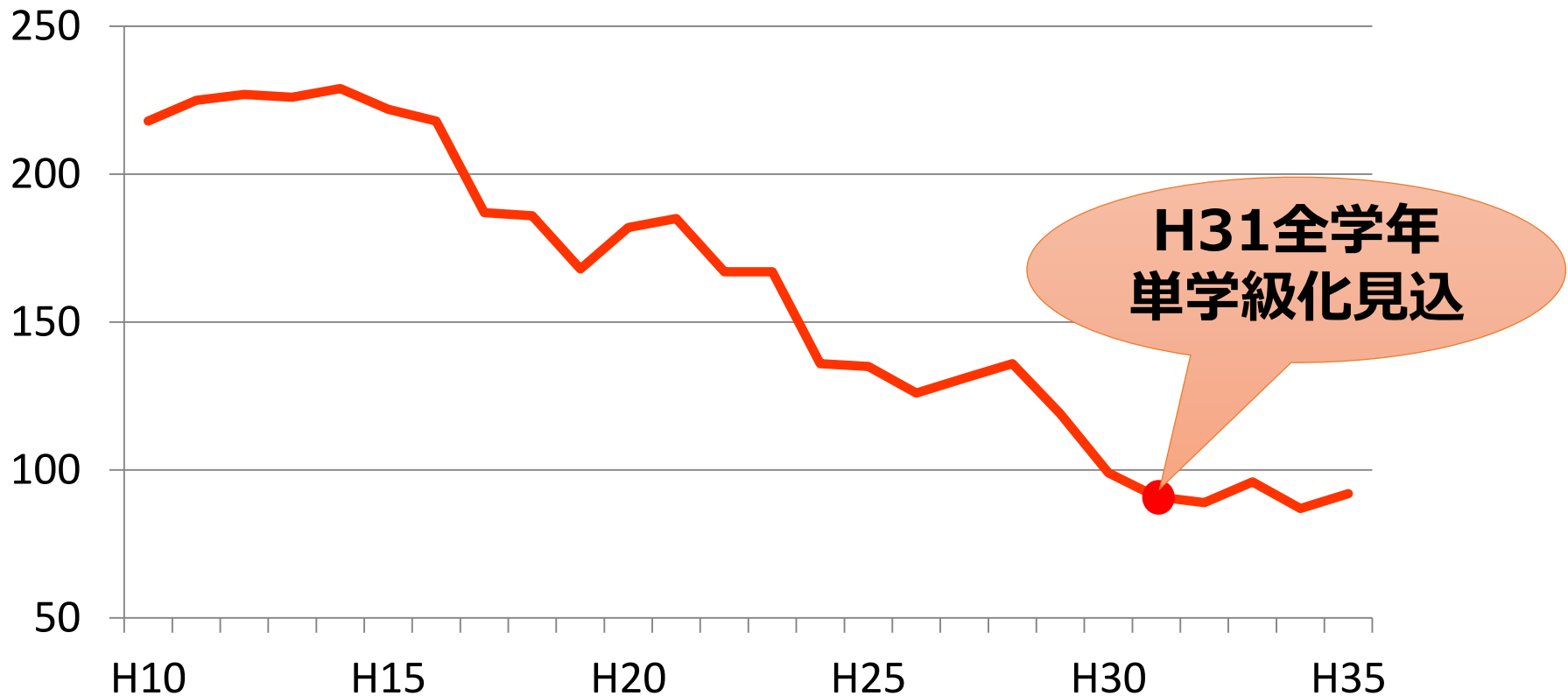
|      | H10        | H29       | H35(推計)   |
|------|------------|-----------|-----------|
| 北鶴橋小 | 265名(11学級) | 101名(6学級) | 97名(6学級)  |
| 鶴橋小  | 299名(12学級) | 137名(6学級) | 135名(6学級) |
| 東桃谷小 | 329名(12学級) | 213名(8学級) | 177名(6学級) |
| 勝山小  | 289名(11学級) | 215名(8学級) | 197名(7学級) |
| 合計   | 1,182名     | 666名      | 606名      |



# 鶴橋中学校が全学年単学級に

○H30年以降は推計値。  
(H29.5.1暫定値による推計)

| H10       | H29       | H31      | H35      |
|-----------|-----------|----------|----------|
| 218名(6学級) | 119名(5学級) | 91名(3学級) | 92名(3学級) |



**全学年単学級化の解消にむけ、中学校の再編を推進**



# 【課題2】教員の若年化・多忙化

大量退職・大量採用の時代となり、  
経験 **10年以内**の教員が**半数以上**

## 小学校の単学級の課題

⇒若手が1人で授業や校外学習等の準備をするしんどさ



## 小中学校の課題

⇒給食・掃除も指導のうち、子どもの貧困などの**課題対応もあり多忙**

⇒学校行事や部活動など、授業以外の教育活動も多く**教員の役割が多い**

**複数学級で教員が学び合い、業務軽減を図り、授業の質を向上させる**



# 【課題 3】 課外学習時間の少なさ

学校がある日に授業以外で  
1日どれくらい勉強するか

「まったくしない」

生野区の小5 **7.1%**  
(小6 全国平均 **3%**)

生野区の中2 **14.8%**  
(中3 同**5.5%**)



基礎学力が定着しにくい



相関

自尊感情・意欲の低下

進路選択の幅が狭くなる

九九が定着していない⇒計算に時間がかかったり、できなかったりする⇒

**苦手意識**



校長室で3年生以上に「九九道場」を実施

# 【課題4】求められる力や授業の変化

## こどもたちが生きる未来とは？

A.I（人工知能）やビッグデータの普及

「2011年度にアメリカの小学校に入学した子どもたちの65%は、大学卒業時に**今は存在していない職業に就く**だろう」

（キャシー・デビッドソン氏 文科省資料より引用）

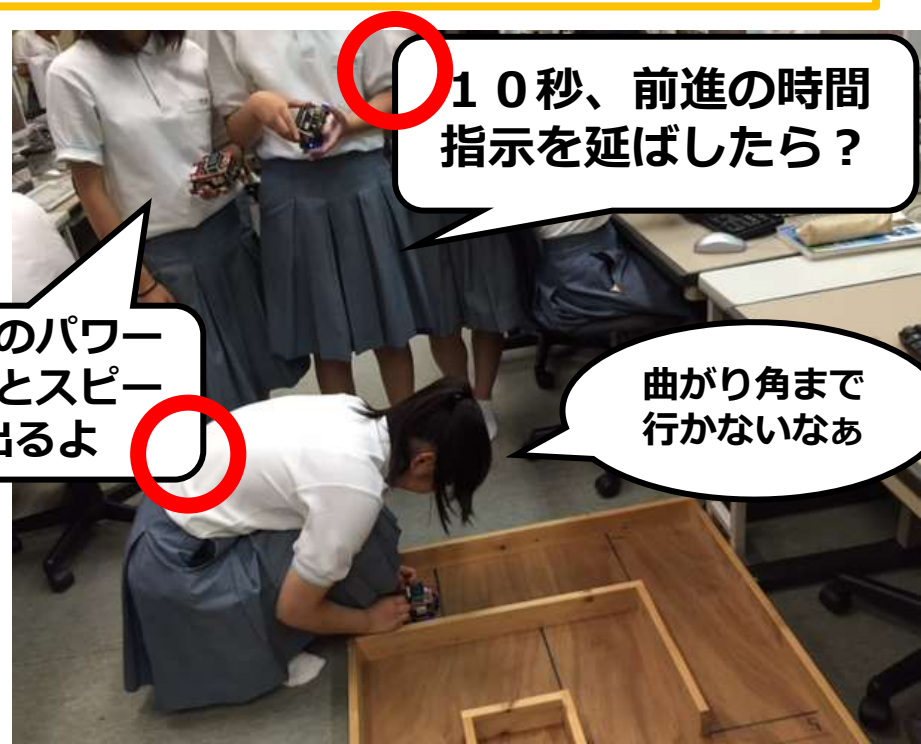
「**正解主義**」ではない  
思考力・判断力を育てる

### 次期学習指導要領

小学校5・6年英語の教科化  
プログラミング教育必修化

### 大学入試改革

数・国で記述式、英語4技能、C B Tの導入



# 課題解決のために

## 「ひとりも取りこぼさない」支援と「未来を生き抜く力」の育成

不登校・虐待・こどもの貧困対策・  
自立支援に積極的に取り組む

基礎学力の上に、課題発見力・  
課題解決力を育てる

区の教育課題を解決しながら「次世代の学校づくり」をめざす

### 【課題 1】

減る児童数と学級  
数をどうする？

### 【課題 2】

教員の若年化、多  
忙化をどうする？



### 【課題 3】

課外学習時間の少  
なさをどうする？

### 【課題 4】

新しい教育にどう  
対応する？

「生野の教育」を示し、教育環境整備と学校支援を行う

### 3. これからの「生野の教育」

# 「生野の子どもたち」に願うこと

変化の激しい時代の中でも

**「居場所」と「持ち場」**のある人生を送ってほしい

## ① 社会人として「持ち場」を見つける

基礎学力を身につけ、適性を伸ばし、進路保障をする

## ② 多様な人とつながる

多文化共生時代に向けたコミュニケーション能力を育成する

## ③ 「学び続ける力と意欲」で課題を乗り越える

時代の変化に対応できる自ら学ぶ力と、「やればできる」という自信を養い、予測できない未来を生き抜く力を育てる

国が考える教育。



現行の学習指導要領

「知・徳・体」のバランスが取れた  
「生きる力」の育成



次期学習指導要領

「2030年の社会」を  
「生きる力」を育てる



未来を読み解くキーワード

A.I (人工知能)

IoT (モノの  
インターネット)

ビッグデータ  
×人口知能

「2011年度にアメリカの小学校に入学した子どもたちの65%は、大学卒業時に**今は存在していない職業に就く**だろう」

(キャシー・デビッドソン氏)

「今後10年～20年程度で、**半数近くの仕事が自動化される**可能性が高い」

(マイケル・オズボーン氏)

文部科学省資料より引用

## 「将来においても人間が担う」

## 仕事のジャンル

- 創造性の必要な業務

「発想力」 「創造力」

- 協調性の必要な業務

「共感力」 「コミュニケーション能力」

- 非定型な業務

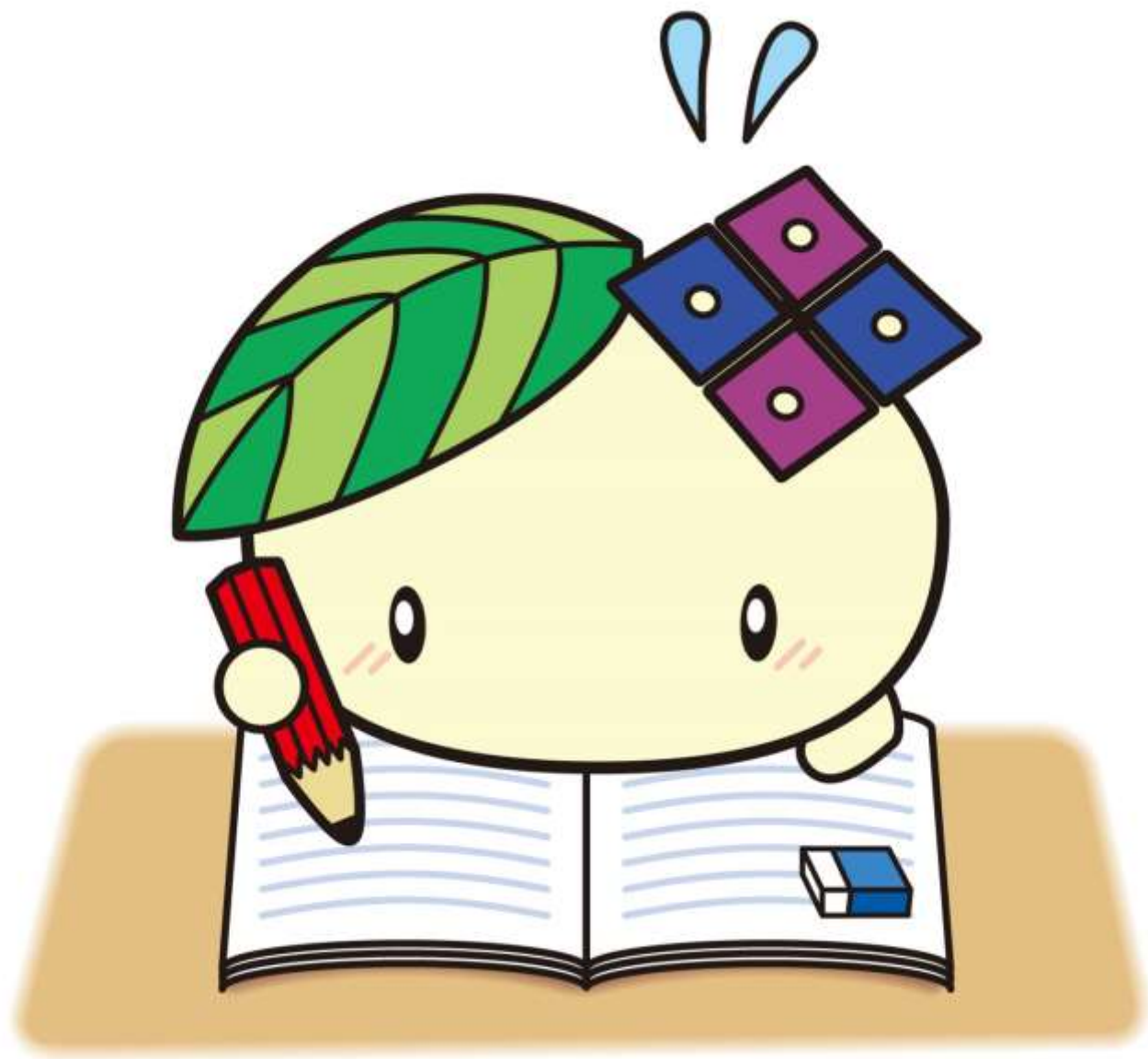
例) 研究 コンサルティング 営業 など



# 国がこども達に望むこと

予測できない未来に対応するためには、社会の変化に受け身で対処するのではなく、**主体的に向き合って関わり合い**、その過程を通して、一人一人が**自らの可能性を最大限に発揮**し、よりよい社会と幸福な人生を**自ら創り出していく**ことが重要





# 「生野の教育」 3つのキーワード

## 今の課題解決の上に「次世代の学校」の3本柱を立てる

### 現状の課題解決



#### 安心・安全な学校づくり

不登校・虐待・こどもの貧困などの課題に学校と行政、地域が連携する仕組みを構築



#### 教員の指導力向上

教員が学びあうための環境整備・学校支援・研修・研究指定など

### 「生野の教育」 3つのキーワード

基礎学力を身につけ、  
学び続けるための  
**自立（自律）学習**

課外学習支援

学校・教員支援

課題を解決し、新たな  
教育を実現するための  
**チーム学校**

学んだことを  
活用する

学ぶ意欲  
目標を持つ



自分を知り、視野を  
広げ目標を持つための  
**キャリア教育**

地域・外部講師  
による支援

小中一貫で実施する  
とより効果が高い

# 「生野の教育」のキーワード① 自立学習

## 自ら課題を設定し、学ぶ力・やりぬく力を育てる

### 生野のこどもたちに望むこと

1. 基礎学力を身につけ、適性を伸ばし、社会人として「持ち場」を見つけること。
2. 「世界につながる生野区」で国際感覚を身につけ、多様な人と協働できること。
3. 社会や人生が変化しても「課題を発見し、解決する」力と意欲を持つこと。

## 公教育としてまず保障すべきなのは、1の「社会的自立」の達成

①「自立（自律）学習」（自ら目標を立てて学習する）ができるこどもを育てる

### 家庭への啓発

「生野区版・家庭学習の手引き」等

### 小中一貫した自立学習指導

中学校区で連携した学び直しや検定の導入などを検討

### 課外の自立学習支援

学びサポーター、自習室、バウチャー活用等

②「主体的・協働的で深い学び」（アクティブ・ラーニング）を取り入れる  
小中連携した研究や指導法などの研修を市の施策を活用して実施

こどもが自主的に学習できる環境や支援を整備する

# 「生野の教育」のキーワード② キャリア教育

## 人生100年時代の「キャリア教育」を生野から発信

「2007年生まれの日本のこどもは、半数が107歳まで生きる」  
「学習～労働～65歳で引退という従来の人生設計は崩れ、**80歳まで学び続け、働き続ける『マルチライフステージ』の時代となる**」

（『ライフ・シフト～100年時代の人生戦略』リンダ・グラットン）



次期学習指導要領も「キャリア教育」を重視

### 生野のキャリア教育

#### 自分を知り、目標を持つ

「キャリアパスポート（仮称）」  
の作成や保護者向けの講座など

#### 「働く」意義やルールを学ぶ

労働者の権利や職業の社会的意義  
についてさまざまな視点から学ぶ

#### 世界と未来に視野を広げる

最新技術や社会課題、新しい職業  
に触れる出前授業や体験講座

#### 地域を知り、貢献する

生野区の歴史や産業を学び、地域の  
一員として防災や環境整備に関わる

学校が取り入れやすいキャリア教育の授業やICT活用の支援

# 「生野の教育」のキーワード③ チーム学校

## 教育活動をサポートする外部連携を充実させる

「こどもを伸ばす学校」の根幹は「いい授業」

教師の時間を授業とこどもに向ける支援を行う

キャリア教育支援



登校見守り



学校



部活動支援



SSW・SC  
などの相談



課外学習・  
日本語指導

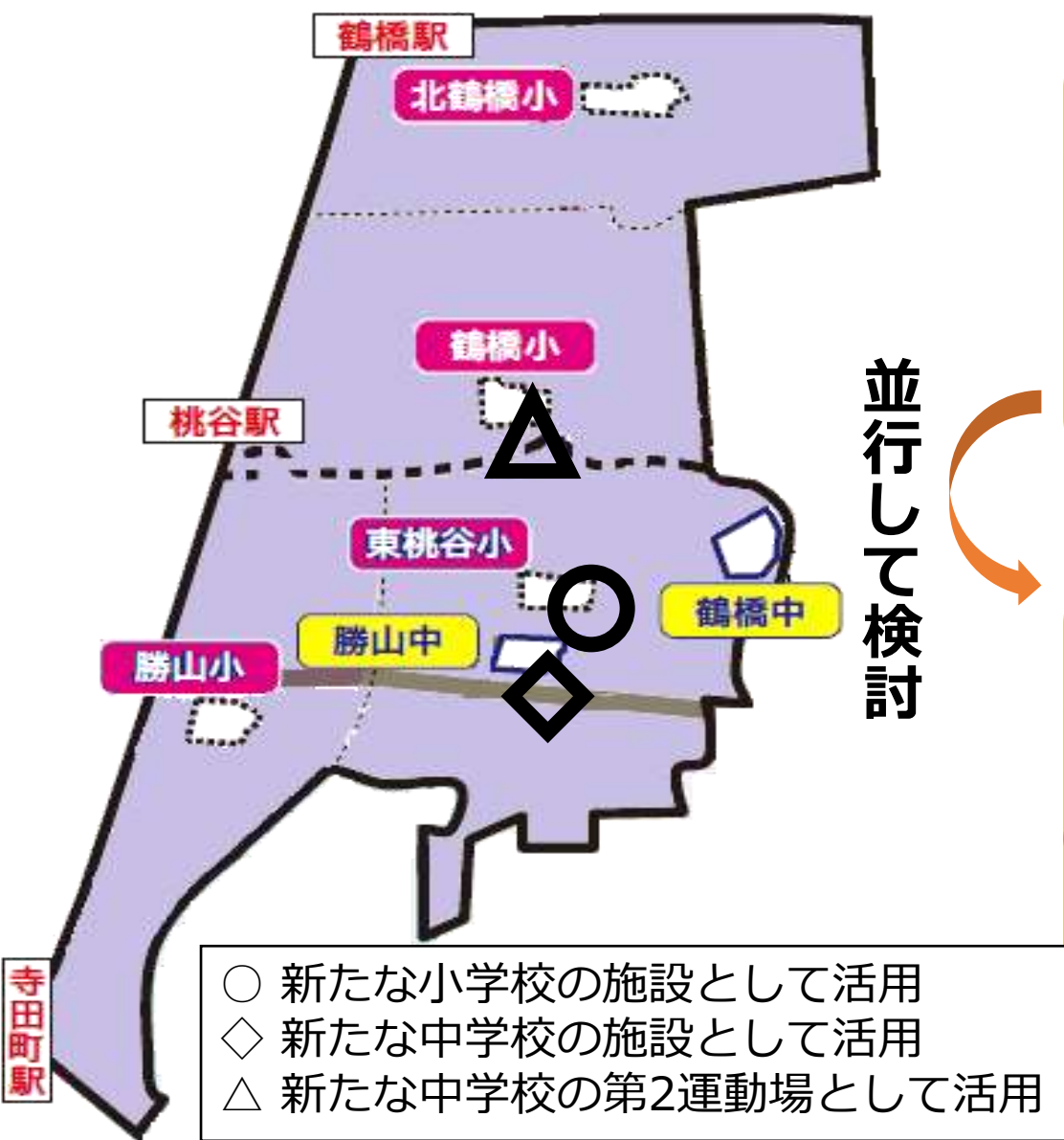


行政・地域・事業者・各種団体・異校種の連携で次世代の「チーム学校」を実現する

学校ニーズに応じた外部人材・専門人材の派遣を支援

## 4.勝山・鶴橋中学校区の 教育環境整備案

# 勝山・鶴橋中学校区の新たな学校配置案



勝山中

鶴橋中

(仮称) **A 中学校**  
もと勝山中学校

北鶴橋  
小

鶴橋小

東桃谷  
小

勝山小

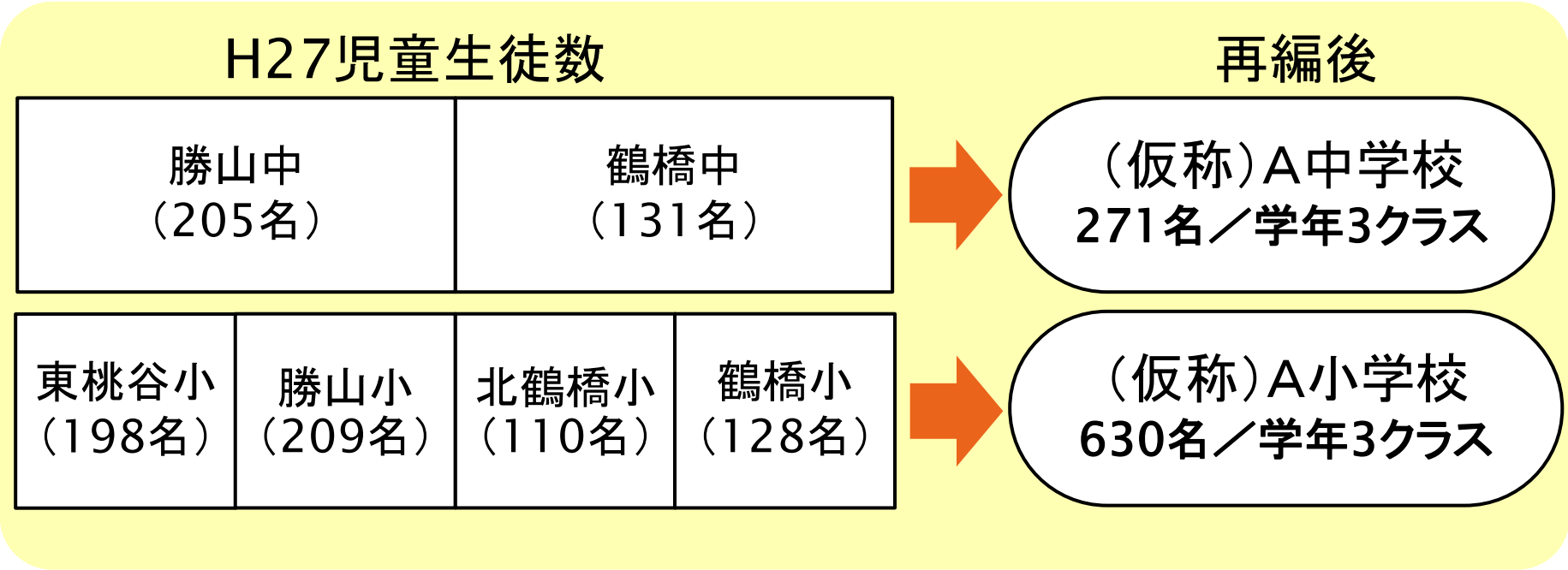
(仮称) **A 小学校**  
もと東桃谷小学校



# 学校再編案の検討シミュレーション①児童・生徒数

## I 勝山中学校区及び鶴橋中学校区

### 再編後の児童生徒数



現在(H29児童生徒数)

|                |               |                |               |
|----------------|---------------|----------------|---------------|
| 勝山中<br>(195名)  |               | 鶴橋中<br>(119名)  |               |
| 東桃谷小<br>(213名) | 勝山小<br>(215名) | 北鶴橋小<br>(101名) | 鶴橋小<br>(137名) |

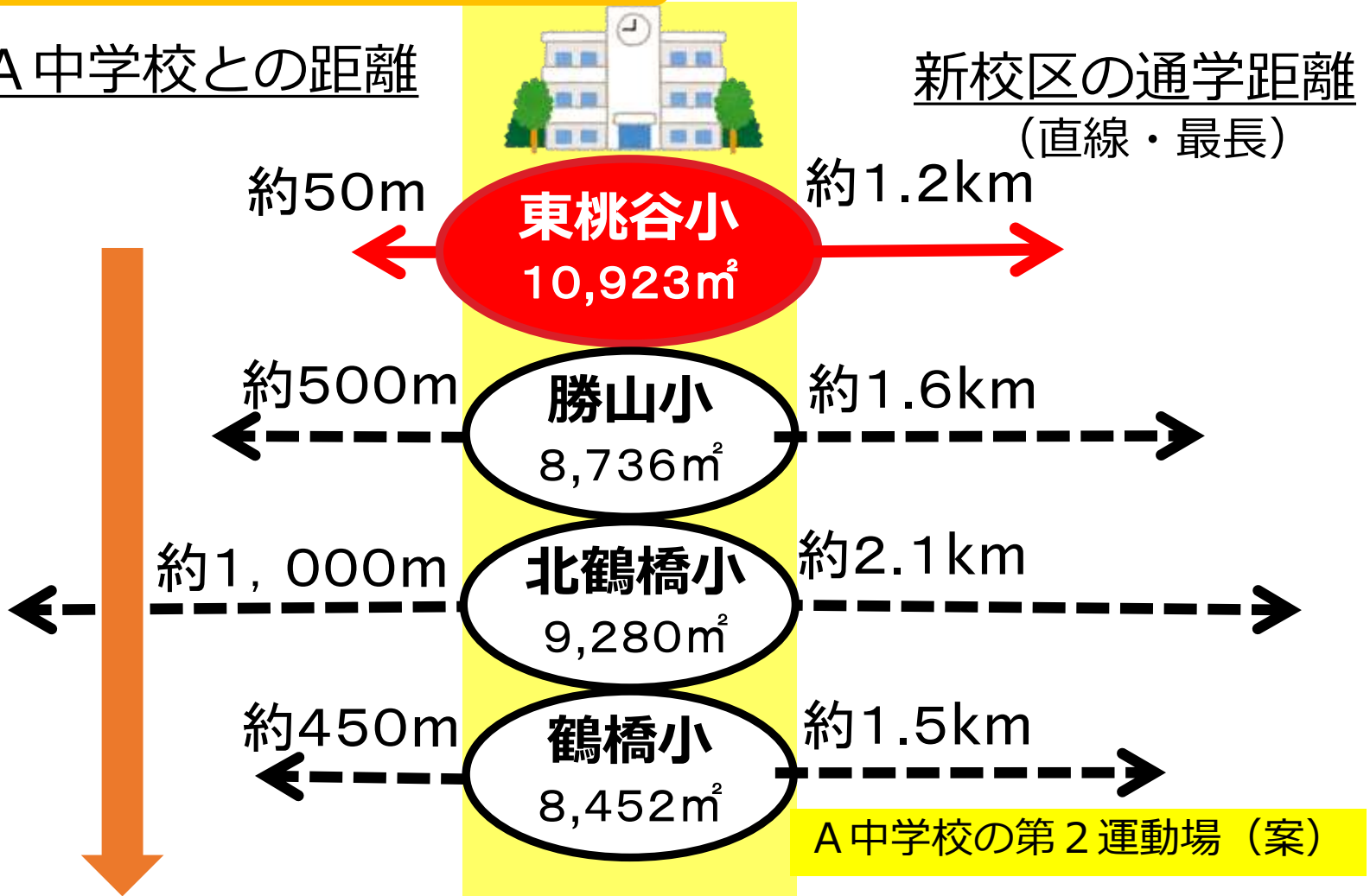
# 学校再編案の検討シミュレーション②設置場所

## (仮称) A小学校の設置場所

(仮称) A 中学校との距離

新校区の通学距離  
(直線・最長)

(仮称)  
A 中学校  
もと勝山中



「隣接型」小中一貫校として教育活動を充実させる

A 中学校の第2運動場 (案)

# (仮称) A 中学校の再編イメージ



勝山中学HPより

生徒を主役とし、学校や生活におけるルールを主体的に話し合わせたり、**再編前からの行事や部活動等での交流を検討**したりする

勝山・鶴橋中学校それぞれの学校長と教職員、教育委員会、区の教育担当が連携し「**次世代の学校づくり**」に取り組む



鶴橋中学HPより

# (仮称) A 中学校・A 小学校の教育活動イメージ

## 自立（自律）学習

小中一貫した家庭学習指導

市や区の施策を活用した  
自立学習・個別学習支援

主体的・協働的で深い学び  
(アクティブ・ラーニング) の研究と導入

情報活用能力の向上をめざ  
した図書室やICT活用

集団の中で学び合う

×

個に応じた支援

両輪で子どもを伸ばす

A 中学校



小中学校教員の連携



A 小学校

## 生野のキャリア教育

小中一貫したプログラム  
(キャリアパスポートの導入)

区や市教委との連携による  
体験授業や出前講座の充実

言語能力・英語能力の向上を  
めざした検定の導入

各地域での体験活動の充実

## 生野版・チーム学校

区や市の施策を活用した専門  
人材・外部人材の活用

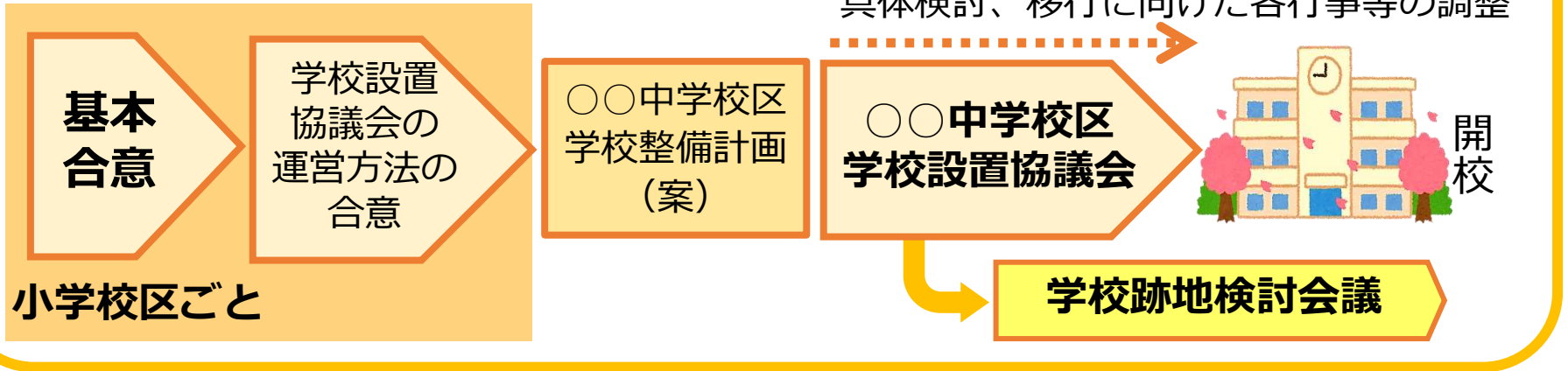
チームを機能させる支援

## 5. 今後の進め方

# 今までの進め方からの変更点

叩き台となる案を出した上での話し合いができなかった

## 今までご提案の進め方



## 昨年度のご意見

- くわしい案が出てこないのに、合意も話し合いもできない
- 「どんな教育内容の学校になるか」が示されていない



「生野の教育」（教育内容）を示し、中学校区ごとに具体的な案をもとに意見交換をする

# 今後の進め方

## 各中学校区ごとの「学校設置協議会準備会」で意見交換

### 今後の進め方①



現在の通学路の安全点検

新たな学校づくりや通学路の安全対策等の  
具体検討、移行に向けた各行事等の調整

「生野の教育」  
と今後の方向性  
の説明会を実施

学校設置  
協議会準備会

〇〇中学校区  
学校整備計画  
(案)

合意  
形成

〇〇中学校区  
学校整備計画  
(素案)

中学校区ごと

学校跡地の利活用事例研究や二一ス調査

「素案」をもとに話し合う準備  
会を設置して具体的に検討する

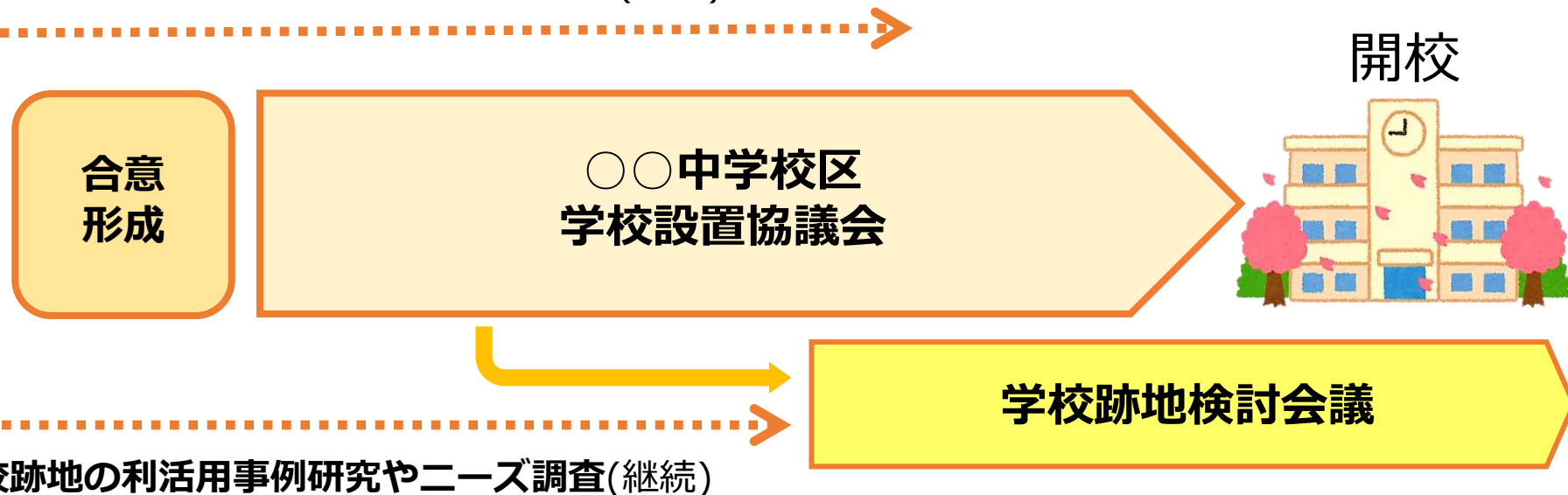


# 今後の進め方

## 合意後に「学校設置協議会」で具体事項の協議

### 今後の進め方②

新たな学校づくりや通学路の安全対策等の  
具体検討、移行に向けた各行事等の調整(継続)





# 「学校設置協議会準備会」の進め方

## 位置づけ

大阪市が作成する学校整備計画(素案)をもとに意見交換を行い、具体的な学校整備計画(案)を策定するための会議

## メンバー

PTA、地域まちづくり協議会からの推薦者  
教育委員会事務局、学校長、区役所の担当 など

## テーマ

校地、開校時期、通学路の安全対策、  
跡地活用、学校設置協議会のあり方など



学校整備計画（案）を 策定したら次のステップへ

学校整備計画(案)の地元説明会を開催、  
合意を得た上で学校設置協議会を立ち上げる

# 準備会で話し合うテーマ（１）通学路

## 通学路の安全対策はどのようなのか？

考え得る解決策を提示し、実現可能性を準備会のメンバーで話し合います。



路側帯のカラー化（八尾市）  
⇒必要な箇所は先行して実施

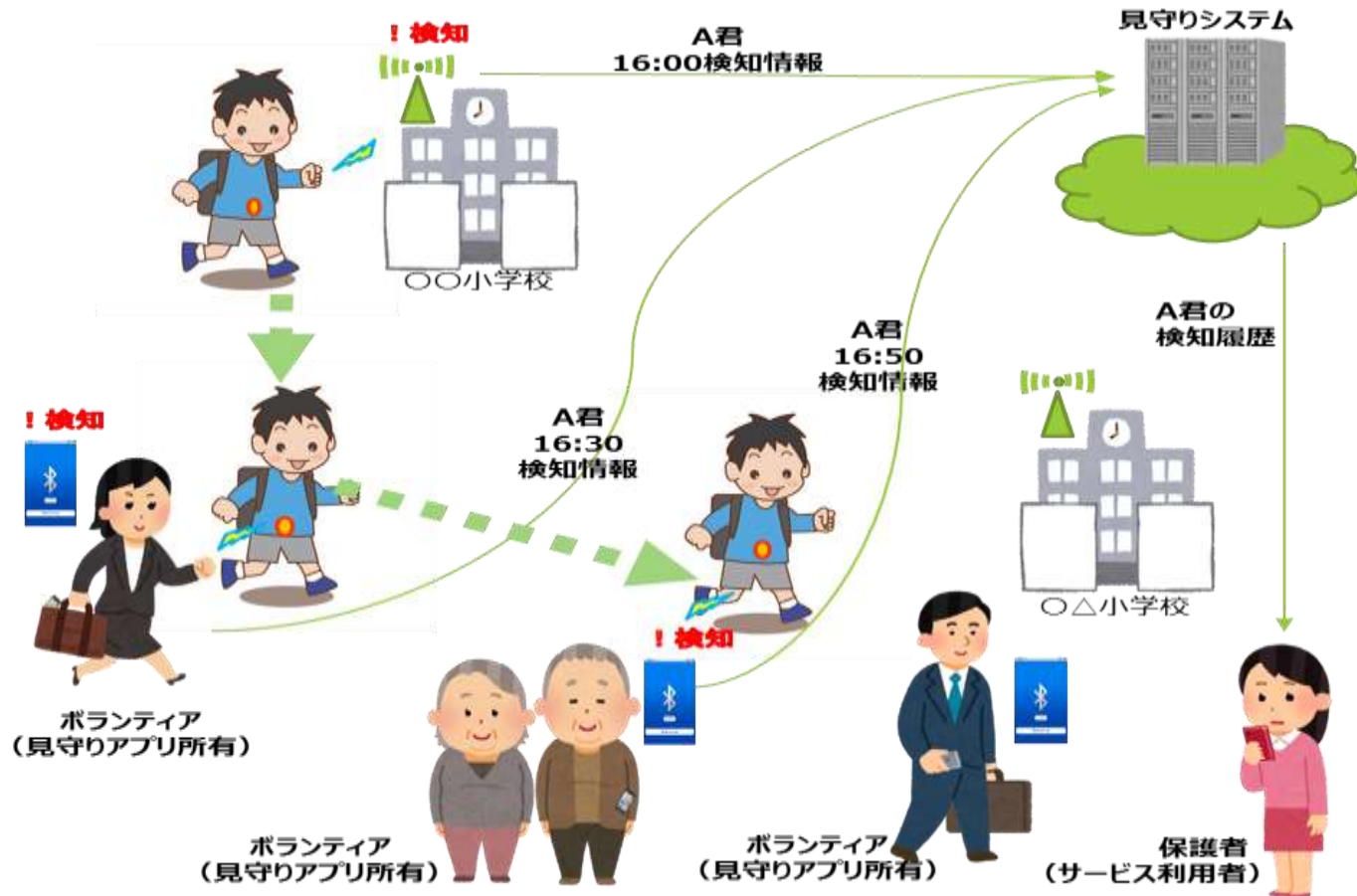


スクールガードリーダーの配置  
（泉大津市）

# 準備会で話し合うテーマ（２）校区の広がり

## 校区の広がりへの安全対策はどうするのか？

考え得る解決策を提示し、実現可能性を準備会のメンバーで話し合います。

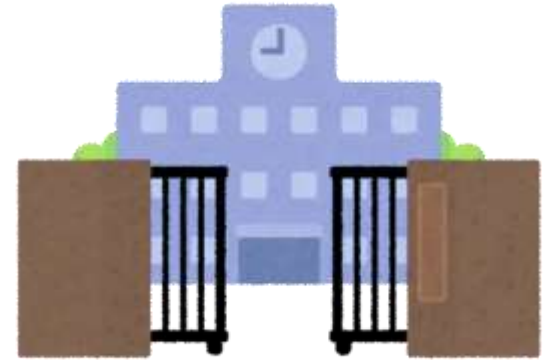
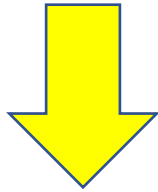


ネットを活用した見守りシステム

# 準備会で話し合うテーマ（3）学校跡地活用

---

学校の跡地はどうするのか？



**廃校後の学校施設の保全管理は行政が行います。**

日常的な活用方法については**次のようなパターンが考えられますが**

**準備会→協議会→学校跡地検討会と議論を引き継ぎながら検討します**

# 学校跡地の活用 パターン① 地域による自主管理

◆管理主体：地域まちづくり協議会

◆活用方法

災害時は避難所

## ・地域まちづくり協議会の活動拠点

地域交流スペース等

貸会議室、貸運動場、貸体育館

## ・その他、区役所が管理するスペース

(防災備蓄、子育て支援スペース等)



### 【地域のメリット】

これまでの利用を継続できる

### 【地域のデメリット】

- ・施設の日常管理が必要  
(人的・金銭的負担が生じる)

※金銭的負担は貸会議室などの  
賃料収入で賄う努力が必要

# 学校跡地の活用 パターン② NPO法人による管理

◆管理主体：NPO法人

◆活用方法

災害時は避難所

## ・ NPO法人の活動拠点

地域交流スペース等  
貸会議室、貸運動場、貸体育館



## ・ その他、区役所が管理するスペース

(防災備蓄、子育て支援スペース等)

### 【地域のメリット】

- ・ 施設の日常管理はNPOが行う
- ・ 貸出時に地域優先利用を条件づけることにより、これまでと同等の利用が可能

### 【地域のデメリット】

- ・ 地域で利用する際の利用料金が発生する



# 学校跡地の活用 パターン③ 民間企業による管理

◆管理主体：民間企業など（有償で貸付）

◆活用方法

災害時は避難所

## ・民間企業・法人事務所

民間企業オフィス等  
貸会議室、貸運動場、貸体育館

## ・その他、区役所が管理するスペース

（防災備蓄、子育て支援スペース等）



### 【地域のメリット】

- ・施設の日常管理は民間企業が行う
- ・貸出時に地域優先利用を条件づける交渉は可能

### 【地域のデメリット】

- ・地域で利用する際の利用料金が発生する
- ・今までと同等の利用は難しい

# 学校跡地の活用 パターン④ 複合型の管理

校舎・運動場などの区画を分割して貸し出し

◆管理主体：民間企業（有償）／地域まちづくり協議会／NPOなど

◆活用方法

災害時は避難所

・民間企業・NPO法人スペース

オフィス、工房、貸会議室、宿泊施設など

・地域まちづくり協議会の活動拠点

・その他、区役所が管理するスペース

（防災備蓄、子育て支援スペース等）

## 【地域のメリット】

- ・施設の日常管理が必要だが、最小限の範囲で済む



## 【地域のデメリット】

- ・自主管理スペースの日常管理、  
自主管理スペース以外の利用  
料金が発生する
- ・今までと同等の利用は難しい



# その他の「学校設置協議会準備会」の議題

---

- 再編前の小小交流、小中交流
- 教育三事業のあり方
  - ・ はぐくみネット
  - ・ 生涯学習ルーム
  - ・ 学校体育施設開放事業
- PTAの連携と新体制
- 各小学校区の地域活動の連携 など

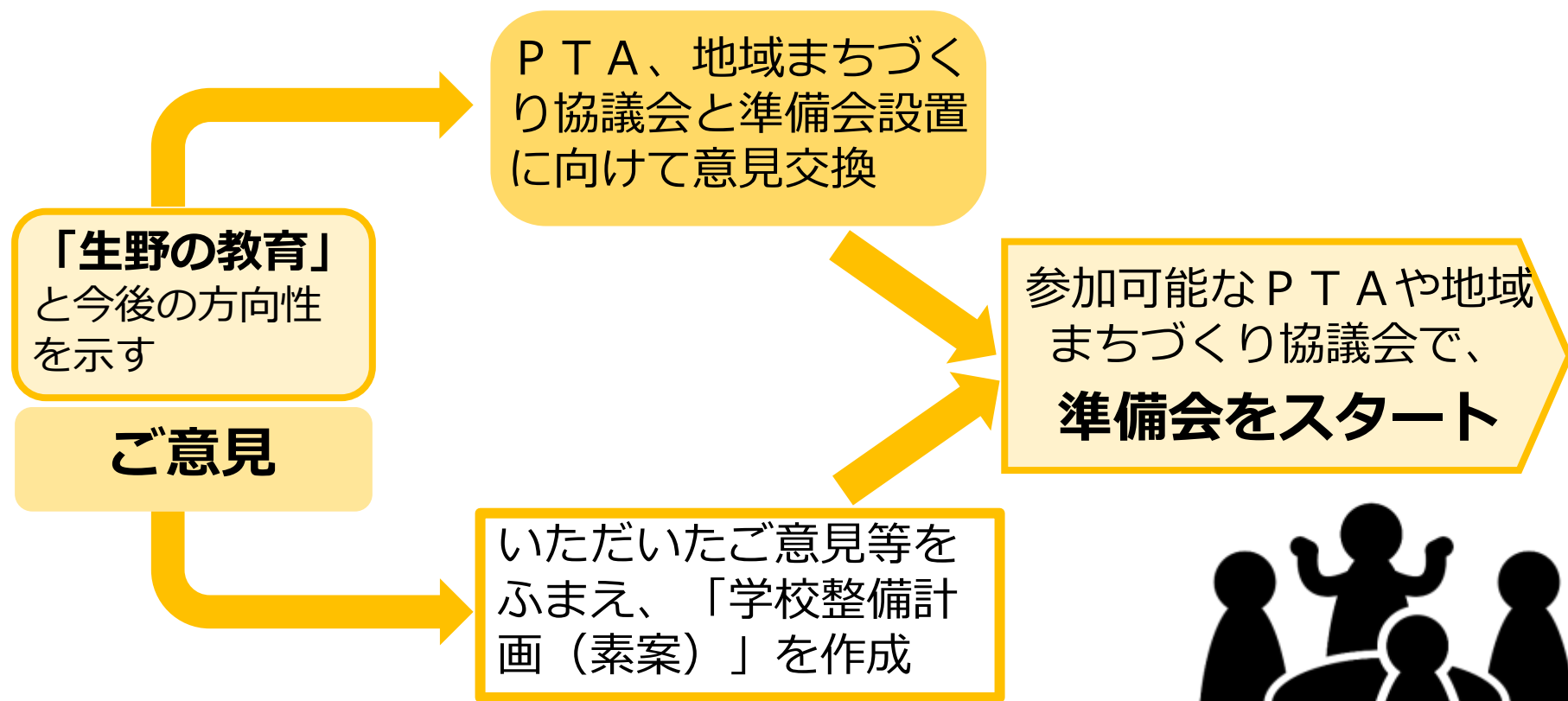


準備会にはより詳細な案や事例を出し、話し合いの上で実現可能な計画を検討します

# 準備会設置までの流れ

各中学校区ごとの「学校設置協議会準備会」をスタート

## 今後の流れ



# 再編に必要な期間 (仮称)A小学校

0 年目

1 年目

2 年目

3 年目

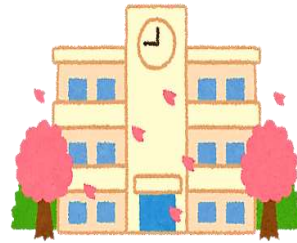
4 年目

学校設置  
協議会  
準備会

学校整備  
計画(案)

A中学校区  
学校設置協議会

開  
校



合意  
形成

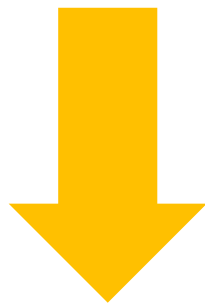
校舎建設工事等

交流事業

# 今後の進め方～勝山中学校・鶴橋中学校～

---

鶴橋中学校、H31に全学年単学級化の見込み  
早期に解消すべき喫緊の課題



小学校の再編にむけた取組も進めつつ、  
**まずは中学校の再編を推進**

# 今後の進め方～勝山中学校・鶴橋中学校～

## 今後の進め方

H29.9

新たな学校づくりや通学路の安全対策等の  
具体検討、移行に向けた各行事等の調整

学校整備計画(案)  
地域説明

合意  
形成

中学校  
学校設置協議会

開校



小学校の再編までの取組を、将来の小中一貫した教育につなげる

- ★ 学力・体力向上等、教育ソフト面での充実を図る
- ★ 小学校の再編を見据えた小中一貫した教育の内容の構築を進める



小学校再編時には施設面の整備充実へ

# 再編に必要な期間 (仮称)A中学校

0 年目

学校整備計画(案)  
地域説明

1 年目

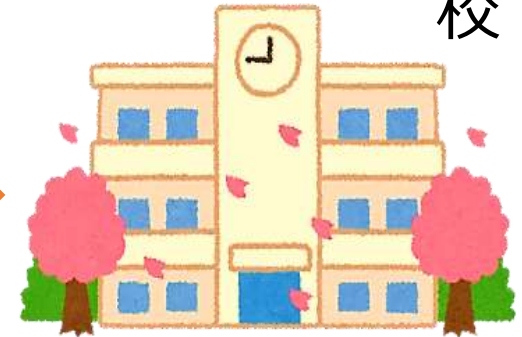
中学校  
学校設置協議会

合意  
形成

教室等  
改修工事等

交流事業

2 年目



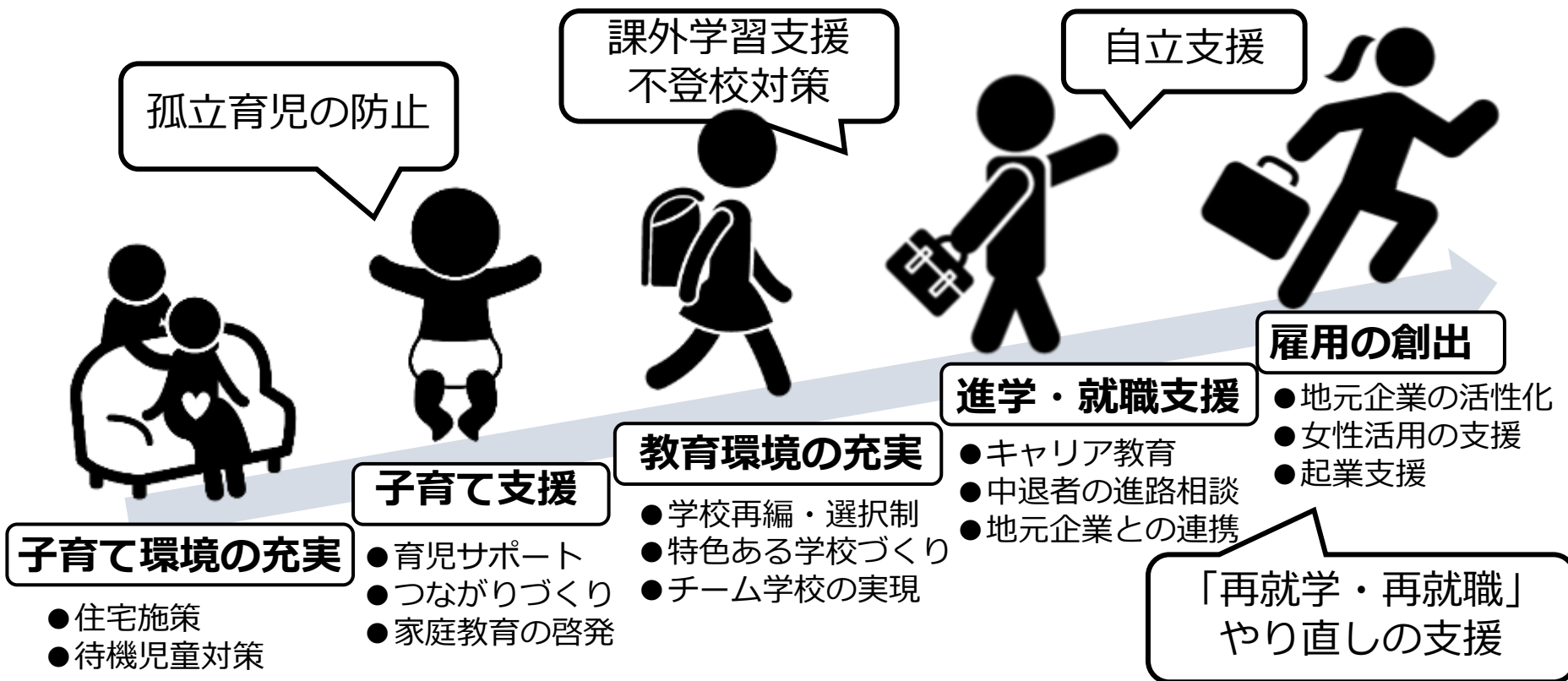
開校

# 6.まとめ

## ～「未来志向」のまちづくり～

# 生野区がめざす子育て・教育・自立支援

## 「ひとりも取りこぼさない」を合言葉に！



「こども」というバトンを確実に未来へつなぐために  
家庭・地域・学校・関連団体・事業者と連携する





# 生野区長としての課題意識

- 高齢世帯率 大阪市 2 位
- 未就学児の数 大阪市 9 位  
なのに…… 小 1 の数が減少
- 空き家率 大阪市 3 位
- 外国人率 大阪市 1 位
- ものづくり企業数 大阪市 1 位

日本の抱える  
課題と可能性が  
詰まってる！



# 「未来志向のまちづくり」をしよう！

「バックキャスティング」で考える

= あるべき未来の姿から、今やるべきことを逆算する

①子育て世代が定着する生野区

②高齢者が安心して暮らせる生野区

③世界につながる生野区



……「今」何をすべき？

# 少子高齢化の中で「持続可能なまち」をめざす

多世代交流

多文化交流

「つながり」のあるまち



安心・安全なまちづくり

空き家対策による活性化

職住近接を実現するまち  
= 地元産業の活性化

子育て支援の充実

教育環境の充実



「生野で子育てしたい」世代を呼び込む

# 最後に……

今、それぞれの学校が  
目の前の子どもたちのために  
日々奮闘しています。

実際に再編をするとなっても、  
時間はかかります。

**「今、目の前の子どもたち」**  
そして  
**「未来の生野の子どもたち」**

どちらもしっかり見つめながら  
学校を支援していきます。



……ご清聴ありがとうございました。